

平成21年度 横浜国立大学法科大学院入学試験（A日程）
小論文試験試験問題（試験時間 13：00～16：00）

問題Ⅰ 次の文章を読み、設問に答えなさい。

（注）著作権法等の配慮により問題文は割愛します。

なお、問題文は、次の文献から引用しております。

『自由とは何か — 「自己責任論」から「理由なき殺人」まで—』佐伯啓思著

（2004年 講談社現代新書）

56ページ3行目～57ページ1行目

59ページ6行目～13行目

66ページ2行目～12行目

67ページ4行3文字目～13行目

77ページ13行目～79ページ11行目

270ページ4行目～12行31文字目

271ページ10行4文字目～272ページ2行目

275ページ4行目～278ページ7行目

問1 下線部分①の「自由のパラドックス」の意味を説明しなさい。（250字以内）

（附記）下線部分①とされた部分は、「276ページ8行24文字目～32文字目」。

問2 下線部分②の「自由を成り立たせている何か」とは何か、説明しなさい。（150字以内）

（附記）下線部分②とされた部分は、「270ページ9行28文字目～10行5文字目」。

問3 筆者の考えと対比させつつ、「なぜ人を殺してはならないのか」という問いに対するあなたの考えを述べなさい。その際、必ず「共有された社会的価値」という語を用い、その語を用いた解答用紙の箇所に下線を引くこと。（400字以上600字以内）

問題Ⅱ 次の文章を読み、設問に答えなさい。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。

なお、問題文は、次の文献から引用しております。

『経済学という教養』稲葉振一郎 著（2004年 東洋経済新報社出版）
287ページ15行目～292ページ3行目

問1 下線部①「個人と公共圏をつなぐ回路としての『市民的公共性』」という言葉の意味を説明しなさい（150字以上200字以内）。

(附記) 下線部①とされた部分は、「290ページ12行34字目～13行12字目」。

問2 下線部②「よっぽどの場合には舞台に上がりこんで騒いだりもする」とは、どのような行動の比喩か、説明しなさい（40字以上60字以内）。

(附記) 下線部②とされた部分は、「292ページ2行1字目～25字目」。

問3 著者は、劇場政治ないし観客民主主義について比較的肯定的な見解を有しているようであるが、観客民主主義には次のような批判もある。この批判を参考に、本文の記述を踏まえつつ、劇場政治の是非について論じなさい（600字以上800字以内）。

(注)著作権法等の配慮により問題文は割愛します。

なお、問題文は、次の文献から引用しております。

『政局から政策へ—日本政治の成熟と転換』飯尾潤 著
(2008年 NTT出版)
21ページ8行目～22ページ3行目

(附記) 21ページ8行7字目と8字目の間に次の文が挿入されている。

「【出題者注：衆議院選挙で中選挙区制が採用されていた当時の、派閥連合としての自民党政治を指す】」